

知基第107号
平成27年9月24日

沖縄防衛局企画部長
森 浩久 殿

沖縄県知事公室長 町田 優



自衛隊の島しょ配備等について（照会）

去る、5月11日、佐藤防衛副大臣が宮古島市及び石垣市を訪問し、自衛隊の配備等について協力依頼がありました。

県としましては、自衛隊の配備については、地元の理解と協力が得られるよう、国は丁寧の説明を行うべきであると考えております。

については、自衛隊の島しょ配備に関して今後の参考に資するため、下記のことについて、回答して下さるようお願いいたします。

記

1 配備計画（島しょ配備について）

(1) 宮古島について

ア. 宮古島には、警備部隊のほか、地对空ミサイル部隊、地对艦ミサイル部隊が配備されとされているが、それぞれ配備する理由、配備規模や配備されるミサイル等の情報。また、ミサイルの防衛範囲について。

イ. 「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について（平成25年12月17日国家安全保障会議決定、閣議決定）」に「各種事態における実効的な抑止及び対処」とあるが、宮古島への自衛隊配備は、抑止になるか。

ウ. 配備予定部隊のそれぞれの指揮系統。

エ. 大福牧場と千代田カントリークラブを候補地として選定した理由とそれぞれの整備内容。

オ. 想定される訓練内容。

カ. 訓練が住民生活に影響を及ぼす可能性（類似地域の事例も含めて）。

キ. 配備後、部隊の規模が拡大され、または配備される装備が変更されることはないか。

ク. 基本計画等、配備の詳細な内容が分かる資料の提供の目処はいつ頃か。

(2) 石垣島について

ア. 与那国島への沿岸監視部隊の配備と、宮古島への警備部隊等の配備が予定されているにもかかわらず、石垣島を調査対象地として選定した理由。

イ. 部隊配置の考え方（宮古島配備との違いを含めて）。

ウ. 今年度の調査対象地はどこか。

エ. 今年度の調査内容、調査結果の地元自治体や住民等に対する説明時期、説明方法。

オ. 配置予定も含めた次年度以降の見通し。

2 自衛隊と米軍の共同訓練等について

(1) 現在、県内に配備されている自衛隊基地で、米軍との共同訓練・研修を実施する予定、計画等はあるのか。

(2) 今後、与那国島、宮古島を含め、県内に自衛隊基地を配備する、又は配備計画を検討している自衛隊基地で、米軍との共同訓練・研修を実施することはあるのか。

(3) 沖縄本島の米軍施設で、与那国島、宮古島等へ配置する自衛隊の訓練・研修を実施することはあるか。

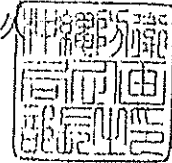


沖防企第5437号
平成27年12月10日

沖縄県知事公室長
町田 優 殿

沖縄防衛局企画部長

森 浩久



自衛隊の島しょ配備等について（回答）

平成27年9月24日付知基第107号で照会のあった件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1 (1) アについて

中距離地对空誘導弾部隊の配置は、島嶼防衛に当たって、港湾や空港など島内の重要なインフラ等を狙った経空脅威に対処できることを念頭に置いています。

また、地对艦誘導弾部隊の配置は、島嶼防衛に当たって、艦艇等による島嶼部への上陸阻止や周辺海域における海上優勢の獲得を念頭に置いています。

なお、中距離地对空誘導弾の防護範囲や地对艦誘導弾の射程距離等の装備品の性能の詳細についてはお答えできません。

1 (1) イについて

宮古島は、陸上自衛隊部隊が配置されておらず、島嶼防衛や大規模災害など各種事態において被害を局限できる体制が整備されていないことは、領土・領海・領空を守り抜く上でも重要な課題です。

宮古島へ陸上自衛隊部隊を配置することは、力による現状変更を許容しないとの我が国の意思を示し、島嶼部への攻撃に対する抑止力を高めることになると考えています。

1 (1) ウについて

宮古島には、普通科を中心とする警備部隊、中距離地对空誘導弾を運用する部隊、地对艦誘導弾を運用する部隊を配置し、人員規模は700～800名程度を想定しています。

配置予定部隊のそれぞれの指揮系統等の詳細については、現在、検討していると

ころです。

1 (1) エについて

大福牧場は、

- ・ 空港や港湾等の重要施設の近傍に位置している平坦で広大な用地を有しているほか、周囲に住宅地がほとんどないため、島民の生活環境を基本的に損なうことなく部隊配置や隊員の訓練が可能であること
- ・ 高台に位置していることから、災害時における自衛隊施設の被害を局限し、警備部隊や増援部隊等による救援活動の基盤となり得ること

千代田カントリークラブは、

- ・ 周辺に避難所が少なく、かつ市街地近傍である利点を生かし、災害時の物資等の集積場所として、また南部の主要な防災拠点としても利用できること
- ・ 各種部隊の訓練の場所として適当な地形・地積を有していることに加え、宮古島市街地の近傍に位置しており、隊員の生活基盤として適していること等の理由から候補地として選定しました。

今後、これら2つの候補地の特性を踏まえ、地権者や地元の方々とも相談の上、両候補地の扱いについて具体的に検討していきます。

1 (1) オについて

現在、訓練内容について、検討している最中です。どのような訓練を実施するかについて、検討が終了し次第、お示しさせて頂きたいと考えております。

1 (1) カについて

現在、訓練内容等について検討中ですが、訓練を行う際には、地元住民の皆様の生活に可能な限り影響が少なくなるよう、努めてまいりたいと考えております。

1 (1) キについて

現時点で、そのような計画はありません。

1 (1) クについて

施設整備の詳細は、今後、取得用地の規模や範囲を踏まえ、防衛省での具体的な検討作業を通じて計画を確定させていきます。

1 (2) アについて

南西諸島では、沖縄本島以外に陸上自衛隊の部隊が配置されておらず、自衛隊配備の空白地域となっている島嶼部が多く存在しています。

こうした中、中期防衛力整備計画に基づく南西地域における警備部隊等の配置に

については、平成25年度予算で、沖縄県の先島諸島及び鹿児島県の奄美群島の有人島を中心に調査業務を実施するとともに、じ後、具体的な候補地選定のための現地調査等を進め、防衛・警備上の観点等を総合的に勘案しながら候補地選定の検討を進めてまいりました。

その結果、

- ・ 石垣島及びその周辺離島には約5万3千人と多くの住民が暮らしているものの、陸自部隊が配備されておらず、島嶼防衛や大規模災害など各種事態において自衛隊として適切に対応できる体制が十分には整備されていないこと
- ・ 石垣島は、部隊を配置できる十分な地積を有しており、島内に空港や港湾等も整備されているとともに、先島諸島の中心に位置しており、各種事態において迅速な初動対応が可能な地理的優位性があること。また、災害対処における救援拠点として活用し得ること
- ・ 隊員やその家族を受入れ可能な生活インフラが十分に整備されていること等の理由から、部隊配備の有力な候補地として選定しました。

1 (2) イについて

石垣島に配置する部隊及びその規模は、現時点で、警備部隊、中距離地对空誘導弾部隊、地对艦誘導弾部隊等を配置し、人員規模は500～600名程度とすることを考えております。

警備部隊等の配置先として、現時点で「平得大俣の東側にある市有地及びその周辺」が有力な候補地と考えております。

当該候補地には、隊庁舎などの建物や、グラウンド、火薬庫、射撃場等を整備することを念頭に置いております。

配置される部隊の規模について、宮古島には、中距離地对空誘導弾部隊の隷下に各種事態の際に指揮統制を行う高射特科群の本部等を配置することとしているため、現時点で石垣島の部隊よりも200名程度の人員増を見込んでおります。

1 (2) ウについて

現地調査は、候補地選定の資とするものであり、検討過程の未成熟な情報も含まれます。このような情報が公開されることにより、地元の方々に無用な混乱や憶測を招くおそれがあるため、その詳細について言及することは差し控えます。

1 (2) エについて

今年度の現地調査としては、現地踏査、造成工事等の難易度の確認、周辺環境の掌握、写真撮影等を行いました。当該調査は、警備部隊等の候補地選定の資となるものであり、検討過程の未成熟な情報も含まれることなど、詳細を明らかに

することにより地元の方々に無用な混乱や憶測を招くおそれがあることから、その詳細について公表を行う予定はありません。

1 (2) オについて

部隊配置にあたっては、市長はじめ、地元住民や地権者の方々からのご理解・ご協力を頂くことが不可欠であり、現時点において、具体的なスケジュールについての回答は差し控えます。防衛省としては、先島諸島における警備部隊等の配置の空白を可能な限り速やかに解消したいとの考えです。

2 (1) について

現時点において具体的な訓練の計画はありません。

なお、これまで米軍要員による沖縄の陸上自衛隊部隊の資料館等の研修を受け入れており、今後も継続していく予定です。

2 (2) について

現時点において具体的な訓練の計画はありません。

2 (3) について

現時点において具体的な訓練の計画はありません。

以 上